

野菜の生育状況及び価格見通し（平成26年2月）について
 （東京都中央卸売市場における主産県及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）

品目	現在の生育状況
根菜類 （だいこん、にんじん）	だいこんの生育は、順調に回復。 にんじんは、昨年夏の高温及び少雨等の影響が残っており、 小ぶり傾向 。
葉茎菜類 （はくさい、キャベツ等）	生育は、概ね順調。
果菜類 （きゅうり、なす等）	生育は、概ね順調。
土物類 （ばれいしょ、さといも等）	主産地の収量は、概ね平年並み。 たまねぎは、小玉傾向による 収量低下 。

品目	主産県 ※（ ）書きは 昨年2月の入 荷シェア。	今後の生育及び出荷見通し	価格見通し （平年比）	
			2月前半	2月後半
だいこん	神奈川県(59%) 千葉県(27%)	・生育は順調に回復してきており、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
にんじん	千葉県(75%) 埼玉県(7%)	・昨年夏の高温及び少雨や台風等の影響が残っており、引き続き、小ぶり傾向が続いていることから、 <u>出荷数量が平年を下回る</u> ため、 <u>価格は平年を上回る</u> 見込み。	↗	↗

はくさい	茨城(60%) 兵庫(13%)	・主産地では11月中旬以降の低温等により小玉傾向にあるものの、2月から出荷が本格化する他の産地では生育が概ね順調であることから、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
キャベツ	愛知(63%) 千葉(16%)	・11月中旬以降の低温等により小玉傾向にあるものの、生育は回復傾向にあることから、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
ほうれんそう	群馬(27%) 茨城(22%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
ねぎ	千葉(39%) 埼玉(23%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
レタス	静岡(33%) 香川(12%)	・生育は順調に回復してきており、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
きゅうり	宮崎(29%) 千葉(20%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
なす	高知(59%) 福岡(20%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
トマト	熊本(34%) 栃木(17%)	・生育は順調に回復してきており、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→

ピーマン	宮崎(37%) 高知(19%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
ばれいしょ	北海道(56%) 鹿児島(24%)	・主産地の収量は概ね平年並であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
さといも	千葉(36%) 埼玉(28%)	・主産地の収量は概ね平年並であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。	→	→
たまねぎ	北海道(87%)	・25年産は、昨年夏の高温・少雨により小玉傾向にあることから、収量は平年を下回っており、貯蔵量が少ないことから、 <u>出荷数量が平年を下回る</u> ため、 <u>価格は平年を上回る</u> 見込み。 ・ただし、海外からの輸入動向によっては、価格は平年並みになる見込み。	↗	↗